

特別会計

区分	歳入決算額	歳出決算額
国有林野払受費	18万7千円	18万7千円
教育財産	117万4千円	117万4千円
小田川財産区	213万5千円	213万5千円
大屋財産区	202万4千円	202万4千円
樋ヶ沢財産区	14万9千円	14万9千円
土地造成事業	2,364万7千円	2,364万7千円
国民健康保険	58億1,067万2千円	56億3,937万8千円
後期高齢者医療	6億7,460万7千円	6億7,128万6千円
介護保険	60億9,977万2千円	58億3,042万8千円
地方卸売市場	2,065万円	2,065万円
合計	126億3,501万7千円	121億9,105万8千円

公営企業会計

区分	収入	支出
水道事業		
収益的	13億7,151万3千円	11億8,283万9千円
資本的	3億6,361万4千円	7億1,908万6千円
工業用水道事業		
収益的	5,899万9千円	5,899万9千円
資本的	3,542万1千円	6,469万7千円
下水道事業		
収益的	24億106万2千円	23億3,662万4千円
資本的	16億1,167万1千円	17億6,596万2千円

収益的収入・支出…施設の維持管理などを行うための収入と支出
資本的収入・支出…施設の整備や借入金の返済などに関する収入と支出

財政状況

■財政は健全に運営されています

国が示す4つの指標に基づき、財政の健全性を確認することができます。繰上償還による借入金返済額の減額などにより実質公債費比率は低下しました。

指標	白河市	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
①実質赤字比率	赤字なし	12.62%	20%
②連結実質赤字比率	赤字なし	17.62%	30%
③実質公債費比率	10.4%	25%	35%
④将来負担比率	53.0%	350%	

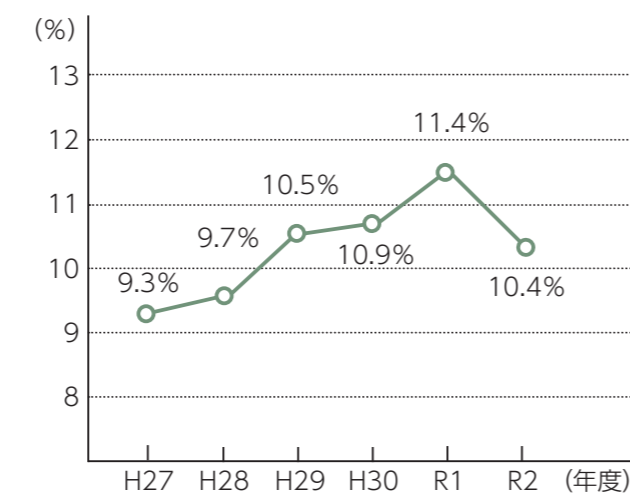
- ①実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合
- ②連結実質赤字比率 一般会計・特別会計・企業会計を合算した赤字の割合
- ③実質公債費比率 年間の借入金返済額の割合(3か年平均)
- ④将来負担比率 将来の負担が見込まれる負債の割合

基金の状況

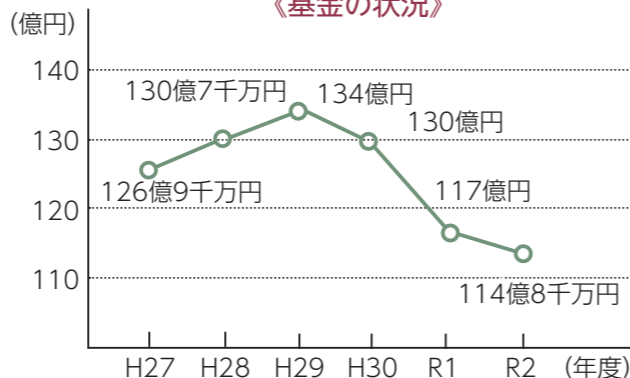
■災害や財源不足に備えています

市の貯金にあたる「基金」は、災害発生時の緊急の対応や教育・文化の振興、市民福祉の向上などのために積み立てて活用しています。令和2年度は、公共施設の整備や債務の繰上償還などで取り崩したことにより減少しています。

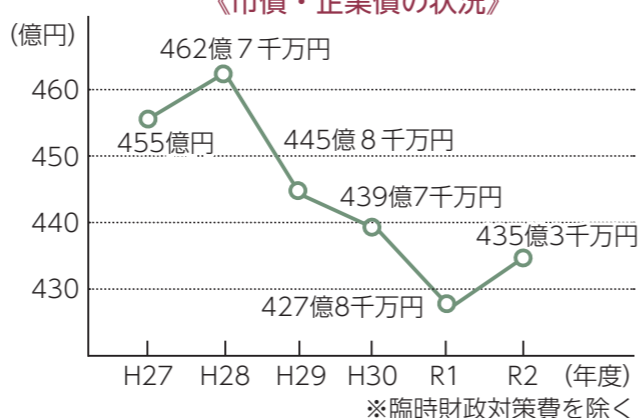
《実質公債費比率の推移(3か年平均)》



《基金の状況》



《市債・企業債の状況》



借入金(市債・企業債)の状況

■将来の負担を踏まえ、計画的に活用しています

道路や橋、学校などを建設するには多額の費用がかかることから、借入金を活用しています。施設は長年にわたり使用するため、次の世代を含め、使う人みんなが公平に負担してもらうことが、借入金を活用する大きな理由の一つです。令和2年度は、令和元年台風19号災害の対応や白二中建設、防災無線整備、庁舎耐震補強などの事業実施により増加しています。

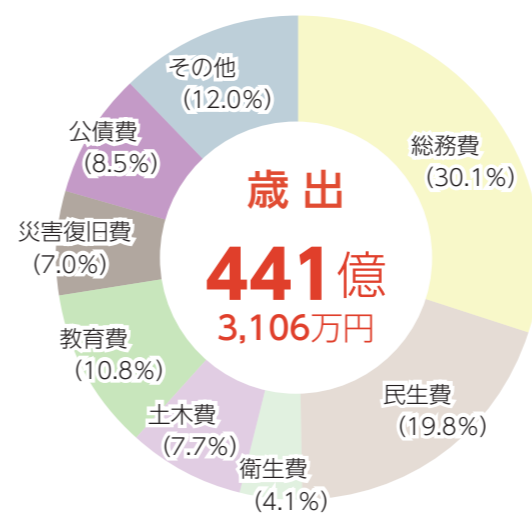
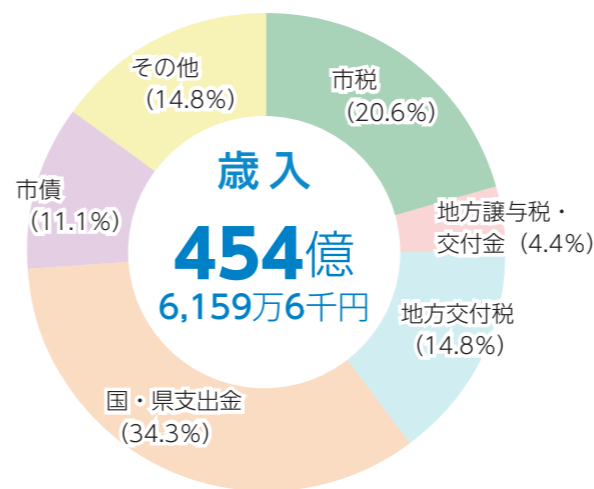
令和2年度

決算の状況

納めていただいた税金がどう使われているか、市の貯金や借入金はどうなっているかなどを知っていただくため、令和2年度決算の概要をお知らせします。
◎本庁舎財政課 内2357

一般会計

歳入と歳出の差引額13億3,053万6千円から、令和3年度に繰り越す事業の財源1億244万9千円を差し引いた実質収支額は12億2,808万7千円で黒字となり、次年度以降の財源となります。



市税	市民税、固定資産税など	93億7,939万8千円
地方譲与税・交付金	国や県が徴収した税から一定の割合で配分される交付金	19億7,884万円
地方交付税	標準的な行政サービスを行うために必要な財源の不足分を国が地方に配分する交付金	67億5,004万1千円
国・県支出金	特定の事業に対して国や県から支出される補助金など	155億9,345万3千円
市債	市の借入金	50億3,020万円
その他	使用料・手数料・繰入金・繰越金など	67億2,966万4千円

総務費	庁舎の維持管理・市税の徴収など	132億7,254万3千円
民生費	高齢者福祉や児童福祉、保育園運営、生活保護など	87億4,382万4千円
衛生費	各種検診や予防接種、除染事業、ごみ処理など	18億1,726万6千円
土木費	道路の舗装や維持補修、河川や公園の管理など	33億9,070万5千円
教育費	幼稚園、小・中学校の学校教育、社会教育や文化財の保護など	47億4,737万4千円
災害復旧費	災害によって生じた被害の復旧など	30億8,910万1千円
公債費	借入金の返済	37億6,720万2千円
その他	農林水産業費、消防費、商工費など	53億304万5千円



▶ 1人・1世帯あたりの市税の負担額

市民1人あたり 15万6,980円
1世帯あたり 37万7,471円

▶ 1人・1世帯あたりに使われたお金

市民1人あたり 73万8,608円
1世帯あたり 177万6,041円

市民1人あたりの支出額は、市税として一人ひとりが負担した金額より約58万円多い結果となりました。
※令和3年3月31日時点の住民基本台帳人口・世帯数から算出(人口59,749人、世帯数24,848世帯)